

# 健康診断のご案内 (2017年)

ワンちゃんネコちゃんが元気に毎日を過ごすために、定期的な健康診断(健診)はとても大切です。

健診は病気を見つけるためだけでなく、若い頃から健診をすることにより毎年のデータの比較ができるので、わずかな異常でも発見できる可能性が高まり、病気の早期治療・発症予防に繋がります。

また、7歳以上のシニアのワンちゃんネコちゃんでは、元気や食欲があっても病気が隠れている可能性がより高くなりますので、積極的に健診を受けましょう。

特にシニアのネコちゃんの飲水量が増えた場合は、病気のサインの可能性が高いです。

1歳を過ぎたら年に1回、7歳を超えたら年に2回の頻度で受けることをお勧めします。

高齢でも元気なワンちゃんネコちゃんが増えてきた理由には、飼い主様の健康に対する意識の向上が挙げられます。

是非、大切な家族のために健診をご利用ください！

## ☆健診プラン☆

### 血液検査のみ

血球計算+生化学(20項目)+電解質+炎症マーカー  
内臓に異常がないかを数値で調べます

### 健診セット

#### ☆ライト

血液検査+レントゲン検査(胸部・腹部)+尿検査+糞便検査  
レントゲンによる画像検査で骨や臓器の形の異常を見つけます

#### ☆スタンダード

ライト+超音波検査(腹部)  
レントゲン検査だけでは分からない腹部臓器の構造や動きを観察します

#### ☆おすすめ (アダルト：1～6歳)

ライト+超音波検査(心臓・腹部)+血圧  
心臓の超音波検査で、心臓の動きや血流を観察します

#### ☆おすすめ (シニア：7歳以上)

ライト+レントゲン検査(関節)+超音波検査(心臓・腹部)+血圧  
+甲状腺ホルモン(総・遊離サイロキシン測定：甲状腺疾患の有無を調べます)  
+Cardiopet proBNP(心疾患のマーカー：心筋への負担の程度をみます)  
シニア期に多い関節症や甲状腺ホルモンの異常、隠れた心疾患を調べます

各健診プランの料金はお問い合わせください

様々な健診プランをご用意いたしました。

どのプランが合っているか分からない場合は、ご相談ください。

ご希望に合わせてオプションを組み合わされます。

検査は、いろいろ組み合わせることで病気の見落としが減ります。

血液検査だけでは発見できない疾患もあり、

どの臓器・組織をターゲットにするかでベストな検査内容は変わってきます。

しかし、健診はどこか具合が悪くて行うものではありませんので、

異常がある臓器・組織を絞って検査することが難しいです。

その為、健診はスクリーニング検査と言って広く検査を行います。

異常が見つかった場合は、

疑わしい疾患を診断するために精密検査に進むこともあります。

血液検査のみの場合は、ご予約なしでいつでも検査可能です。

健診セットは半日お預かりの検査になりますので、午前中にご来院いただき、夕方のお迎えとなります。

検査にレントゲン検査、超音波検査が含まれる場合は12時間前から絶食でご来院をお願いします。

また血液検査のみの場合でも総コレステロールや中性脂肪は食後の影響を受けることがありますので、絶食での検査が望ましいです。

各検査の結果は、約1週間後にご報告となります。

健診のご予約はお電話でも承ります。



痛くない・・・。

尿検査と糞便検査は、持参していただいたものを検査します。

事前に検査容器をお渡しすることも可能です。

健診当日にした尿と便をご持参ください。

採尿・採便が出来なかった場合、後日でも検査可能です。



ワンちゃんネコちゃんのキャラクターによっては、

ご希望の検査を行えない場合があります。

その際には飼い主様との相談の上、鎮静処置を行って検査を進めることもあります。

オレに触るなー！



## 血液検査内容

血球計算 赤血球 白血球 血小板

生化学 栄養・炎症 (TP Alb Glob Alb/Blob) 肝・胆道系 (AST ALT ALP GGT T-Bil)

腎臓 (BUN CRE **SDMA** BUN/CRE) 脂質 (T-Cho TG) 骨代謝 (Ca IP)

膵臓 (Amy Lip) 血糖 (GLU)

電解質 Na K Cl

炎症マーカー 犬CRP

**SDMA**とは...腎臓から排泄される代謝産物です。今までは腎機能の評価にCREを用いていましたが、SDMAはCREに比べ、猫は17ヶ月、犬は9.5ヶ月早く上昇するため、

## 血液検査オプション

フィラリア検査

甲状腺ホルモン (総・遊離サイロキシン測定：甲状腺疾患の有無を調べます)

Cardiopet proBNP (心疾患のマーカー：心筋への負担の程度をみます)

膵特異的リパーゼ (膵炎のマーカー：食欲不振や嘔吐、下痢の症状がある場合)

## 眼科検査

スリットランプ：細い光を目に当てて、角膜や水晶体、硝子体などを観察します。

拡大して観察できるため、肉眼より詳細な情報が得られます。

シルマーティアートテスト：涙液量を測定することで、ドライアイの診断に用いられます。

フルオレセイン染色検査：角膜に染色液を点眼し、傷の有無を観察します。

眼圧測定：目の硬さを測る検査機器です。

角膜にソフトに接触するため点眼麻酔の必要はなく、動物に優しい検査です。

眼圧が上がる緑内障や眼圧が下がるぶどう膜炎の評価をします。

眼球超音波検査：眼球の大きさ、眼窩の腫瘍、網膜剥離、水晶体脱臼などを観察します。

## オーラストリップ

口腔内の歯周病菌が作り出す硫黄化合物の濃度を測定することで、口腔内の衛生状態を確認します。

\*口腔内の詳細な検査は、意識下で行うことが難しく正確な判断ができません。

本検査は、ご家庭でのデンタルケアが上手くできているかの客観的な評価法としてご利用ください。

当院では、歯の検査と治療は麻酔下で行っております。

歯について気になることがございましたら、まずはご相談ください。